

台風10号の接近に伴う注意喚起

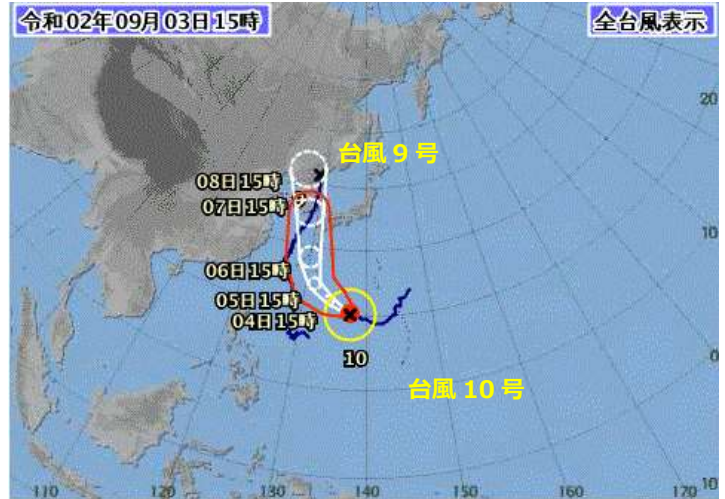
各種報道のとおり、台風10号は特別警報級の勢力に発達し、9月6日(日)から7日(月)にかけて奄美地方から西日本に接近または上陸する進路が予想されております。本号では、被害の発生・拡大防止にむけた注意喚起についてお伝えいたします。

1. 台風10号の進路予測

9月3日(木)15時50分の気象庁予報部発表によると、強い台風10号は、本日3日15時には日本の南に位置し15km/hの速さで西へ進んでおり、台風の特別警報基準に該当するほど急発達することが予想されています。

今後の進路は5日(土)から6日(日)にかけて沖縄地方に接近、6日(日)から7日(月)にかけて奄美地方から九州に接近または上陸するおそれがあります。奄美群島近海に位置すると思われる6日(日)15時頃の最盛期には、中心気圧が915hpa、最大瞬間風速は80m/sと猛烈な勢力に発達し、その後も勢力を維持する見込みとなっています。

なお、2日(水)、気象庁は台風10号に関して会見を開き、「特別警報級の勢力とも言える。これまでと同じくらいの台風だろうと思われる、想像以上のことが起こってしまう」と、これまでになく強い言葉を用いています。台風の接近が見込まれる4日も前に会見が開かれることは異例といえ、台風10号への危機感が伺えます。

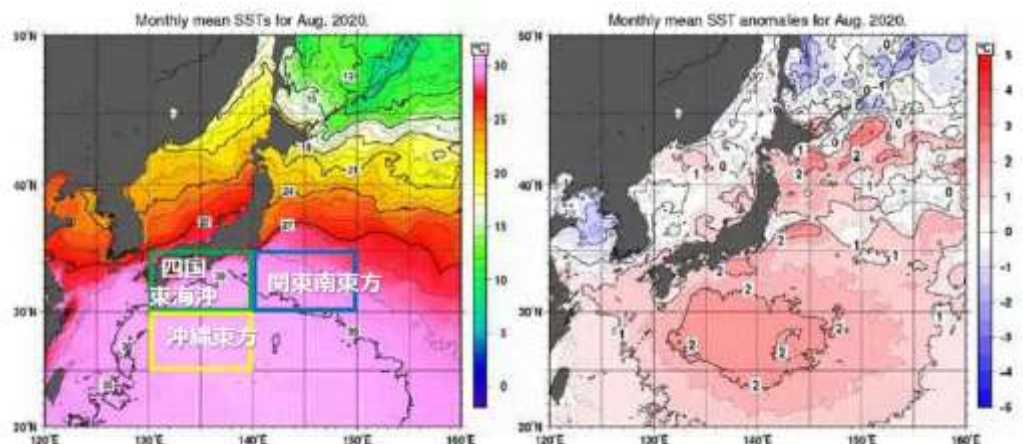


台風10号(下)の進路予測(9/3(木)15:50気象庁発表)

2. 台風10号の気象予想

台風は、海から蒸発した水蒸気をエネルギーに成長していく一方、風を吹かせれば吹かせるほど、海面がかき混ぜられて冷たい海水が上がってくることでエネルギーが失われていきます。

しかし、右図のとおり8月の猛暑により海面水温が30度以上あることが分かります。なお、台風の進路



8月の平均海面水温(左)と海水温偏差(9/1(火)気象庁報道資料)

にあたる海洋の下層水温も平年より2~3度

高い状態のため、エネルギーが失われにくい、つまり台風10号が急成長し、勢力が衰えにくいということが分かります。

9月2日(水)17時10分の気象庁予報部による発表では、4日(金)は沖縄地方、5日(土)は沖縄から九州南部にかけて、6日(日)~7日(月)は沖縄から九州、四国、中国、近畿、東海、伊豆諸島までの広い範囲で警戒を呼び掛けており、記録的な暴風、高波、高潮、大雨となるおそれがあります。

右図は 1951 年の統計取得以来、台風上陸時の中心気圧が低かった台風の上位 3 位です。現時点の予測値ではありませんが、台風 10 号が近年まれに見る勢力であることがうかがい知れます。

順位	発生年	名称	気圧
1	1961 年	第二室戸台風	925hpa
2	1959 年	伊勢湾台風	929hpa
3	1993 年	台風 13 号	930hpa

出典：気象庁 HP データを加工

台風 10 号はその勢力に加え、令和 2 年 7 月豪雨の被災地や、台風 9 号により地盤の緩んだエリアへ立て続けに影響を及ぼすことにより甚大な被害をもたらすことが懸念されています。本日 3 日(木)17 時頃に、気象庁予報部から総合情報が発表される見込みですが、最新の情報に従って早め早めの対策を取っていただくようお願いいたします。

3. 台風 10 号への注意喚起

現時点の予想では、台風 10 号は 7 日(月)9 時時点で沖縄～九州、中国・四国の一部エリアを暴風警戒域としています。25m/s 以上の風が吹くと、ブロック塀が倒壊する、取付不完全な外装材がはがれて飛散するなどの被害が想定されます。暴風により通気口から雨が入り込むような事例もありますので、直前でもできる対策をご準備いただければと思います。

また、エリアによっては満潮時間帯に近い港があります。

右図は昨年、近畿地方を中心に暴風や高潮等をもたらした台風第 21、24 号が近畿地方を縦断したときの大阪と神戸の潮位です。推算潮位は 100cm を下回っていたにもかかわらず、瞬間値ではそれよりも 227 cm も高い潮位を観測しており、台風襲来時の高潮リスクの大きさを示す結果となりました。そのため、事前に十分な対策を講じることをお勧めします。

台風	大阪		神戸	
	21 号	24 号	21 号	24 号
推算潮位	52cm	53cm	52cm	56cm
最高潮位	329cm	131cm	233cm	126cm
偏差	277cm	78cm	181cm	70cm

台風 21、24 号発生時の潮位変化 (出典：気象庁)



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

